

市長発言要旨

【発表事項】

①松が岬公園お堀南側の菱門橋の損壊について

12月21日（土）夜間に発生した松が岬公園内のお堀に架かる菱門橋の損壊について御報告いたします。

はじめに、損壊判明から現場対応までの経過ではありますが、12月21日（土）午後9時50分頃に、市民の方から警察に対し、菱門橋が損壊しているとの通報があり、同日午後10時20分頃、警察から市へ連絡がありました。その後、警察と本市との合同で、立入禁止措置などの現場対応を実施し、また、翌日の午前9時に、再度、現場確認を実施し、立入禁止措置を強化したところであります。

菱門橋の損壊状況についてであります。菱門橋の橋台は石積み上に設置されたものと推定され、その土台となる石積みが崩落したことに伴って、橋台が沈下し菱門橋が損壊したと思われる状況でありました。

石積み崩落の原因につきましては、現時点では調査中ではありますが、石積みを行った後、期間が経過していることで石積みにゆみや乱れが生じ、このたびの崩落、菱門橋の損壊につながったものと想定されるところです。

なお、菱門橋につきましては、昭和42年4月に本市で整備したものであります。

今後の対応であります。菱門橋については、松が岬公園内の象徴的な施設で重要な観光資源でもあることから、復旧を急ぐべきと考えておりますが、まずは、損壊の状況及び復旧の方法等について調査を行う方向で調整を行っている段階です。調査結果により、復旧に向けた施工方法や、スケジュールなどについても明確化できるものと考えているところです。

なお、初詣を控えた時期でもあり、参拝される方々にご不便をおかけしてしまいますので、市民の皆様などに対する周知につきましては、ホームページやSNSなどにより、早急にお知らせをいたします。ご不便をおかけしますがご理解をいただきますようお願いいたします。

復旧に関する費用も不明であります。公金の支出も必要だと思いますが、象徴的な観光資源の1つでもある上杉神社関係施設でもあることから、例えばクラウドファンディングという手法を用いることも検討してまいりたいと考えています。

この事案が発生したのが夜間であったこともあり、人的被害がなかったことが不幸中の幸いであったと思います。

【回答事項】

①「今年の世相を表す「今年の漢字」が発表されました。2024年を振り返って漢字一文字で表すとしたら、どのような漢字になりますか。理由と併せてお聞かせください。」に対する回答

2024年を漢字一文字で表すとすればということですが、私としては「動」という一文字にしたいと思います。昨年12月末に就任し、「好循環の米沢」の実現に向け、動き出した1年、という意味で

「動」といたしました。

私自身、市長として待ちの市政でなく、自身が動く、行動することを心掛けたという意味での「動」、また、元旦の能登半島の大地震で始まった今年ですが、本県においては夏、県内を襲った集中豪雨で水害に見舞われました。そういった気候変動が激しくなっているという面での「動」、気候変動だけでなく、社会的にも先の衆議院選挙で自民党が少数与党となり国政の環境が動きました。コロナ禍で停滞していたものが動き出す、コロナ禍で表面化してこなかった問題が表面化するなどプラス・マイナス双方の面で「動いた」年だったかと思いますので、「動」としたところです。

②「多くの小中学校で通知表・成績表が児童・生徒の手元に届く時期です。成績表に倣って5を最大とする5段階評価で、選挙戦で掲げた以下の公約の進捗状況を評価してください。『子育て・教育』『市民の所得増』『誰もが暮らしやすい』『総合（好循環）』また個別にそれぞれ成果や課題についてご紹介ください。」に対する回答

就任して、1年と3日ではありますが、毎日、米沢市・市民の皆さんにとって、何がベストか？ベストでなくても、ベターは何か？を判断基準に懸命に職務にあたり行動してまいりました。その意味では、満点の努力をしてまいりました。

ただ、その結果の評価は、市民の皆さんが下すことですから、私が自己評価すべきものではないと思います。

公約の関係で敢えて言えば、実現したものもあり、着手して途上のものもあります。新たな課題も浮上しております。点数をどうしてもつけるということであれば、5点満点中、3点としたいと思います。

次に公約に関する個別項目について、それぞれの成果と課題というご質問にお答えいたします。

はじめに、「子育て・教育の米沢」では、市長就任後、関係部署に指示を出し、本年4月から置賜地域で初めて小中学校給食費の完全無償化を実施しました。

また、近年の酷暑から子どもたちを守る取組として、小中学校全ての体育館に移動式冷房機器を整備したほか、官民連携により高性能気象センサーの設置や、全国の自治体初となる熱中症のリスクを判定する「AIカメラ」の導入などスピード感をもって実現してまいりました。

少子化は、本市にとって重要な課題でありますので、今後も、県内最高水準の教育環境を実現するために、放課後児童クラブ利用料無償化に向けた検討や県立中高一貫教育校の設置に向けた関係機関への働きかけを一層強化していきたいと考えています。

二つ目の「市民の所得が増える米沢」ですが、今年度のふるさと納税寄付目標額について20億円としたところです。夏の米不足の影響により米の返礼品の提供を一時停止せざるを得ない状況となるなど、苦戦していた部分もあります。しかしながら、まさにこの年末の一週間は、寄附額が最も増える時期でもありますので、引き続き事業者と連携を密にしながら、寄附額の拡大に向けしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

次に、新たな産業団地の整備についてですが、現在、開発候補地として、2つのエリアを選定しておりますが、整備規模や開発手法等を比較検討しながら最終候補地の絞り込みを今年度中に決定する予定です。本市におきましては、若年層の人口流出や労働力不足が課題となっておりますので、市内で学ぶ大学生や高校生、特に女性にも残ってもらえるような企業の誘致につきましても、力を入れてまいります。

最後に、「誰もが暮らしやすい米沢」では、公共交通の運行エリア拡大に取り組んでおります。乗り合いタクシーにつきましては、今年4月から南原と築沢の2つの地区を加え、6地区で運行を行っております。また、市民バスにつきましては、学生等のニーズを踏まえ循環バス南回り路線のルートを大きく変更し、「学園都市線」として運行したことで、利用者も増加している状況であります。今後も、バスや乗合タクシーなどを組み合わせたベストミックスを模索し、市内全域で公共交通が利用できるように取り組んでまいります。

次に、地域医療の維持に向けた取組ですが、市立病院の循環器系医師を増員したほか、小児科の診療所開設を支援する補助制度を県内で初めて創設しました。しかしながらこの補助制度への申し込みは現時点でない状況であります。こうしたことから、大切な子どもたちの健康を守るために、来年1月から市立病院小児科の非紹介加算料を当面の間、廃止することを市長の判断として決定しているところです。

開業医のみならず医師不足は依然として深刻な課題でありますので、市長である私が自ら先頭に立ち大学医局などへの要望や必要な施策を進めていく必要があると考えています。

次に、市民要望が多い雪対策についてですが、この後の回答で改めてお伝えいたします。

今年1年間を振り返りますと今申し上げた施策をはじめとして「好循環の米沢」に向けた歩みを着実に進められておりますし、スピード感を持って進めておりますが、1年で全てが完了するわけではありません。腰を据えて鋭意作業をすすめるほか、公約にない事項につきましても次年度以降取り組んでまいりたいと考えています。また、次年度はまちづくり総合計画の策定期間でもありますので、10年間のビジョンをお示ししたいと考えています。

③「今月13日、24時間降雪量が40センチと今季初めてまとまった雪が降り、市内各所では除雪車の活動が見られました。公約の一つである「丁寧な除雪」の手ごたえについてお聞かせください。また、「除雪車のシーズン初出動」や「同様の積雪量」などを基準に、役場に寄せられた苦情の件数など「丁寧な除雪」以前との比較結果があれば、併せて教えてください。」に対する回答

今月12月13日に40センチ、22日の夜から25日の早朝にかけて68センチとまとまった降雪があったところです。

過去10年を見ますと、12月に30センチ以上降雪があったのは、平成26年度、平成29年度、令和2年度、令和3年度であり、今年度を含め延べの5回でした。

同じように40センチほどの積雪があった令和3年12月26日から27日にかけての苦情件数は80件でありましたが、今月12月13日の苦情件数は43件でありました。

地域によっては苦情や意見内容も異なりますし、私には除雪が良くなったとの声が届いております。これは、通行する道路やその方の主観にもよりますので、一概に述べることは難しいと思いますが、今回、降雪量に応じた除雪が実施されるように時間精算としたところでもあります。また、運用途上ではありますが、除雪状況の見える化にも取り組んでおりますので、今後も「丁寧な除雪」に努めてまいりたいと考えています。